

富津市社会教育委員会議会議録

1	会議の名称	令和元年度第1回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	令和元年5月17日(金) 午前10時00分～午前11時30分
3	開催場所	富津市役所503会議室
4	審議等事項	(1) 富津市社会教育委員会委員長の互選について (2) 富津市社会教育委員会副委員長の互選について (3) 君津地方社会教育委員連絡協議会理事及び監事の選出について (4) 代表委員の選出について (5) 生涯学習・社会教育と社会教育委員について (6) 富津市教育施策(生涯学習関係部分)と社会教育事業について (7) 富津市の社会教育施設について(あり方・整備方針の検討)
5	出席者名	(社会教育委員) 鳩飼直、宮内和男、鹿島嘉高、斎藤啓一、神子正利、大野泰代、高橋栄二、杉田玲子、森千枝子、石井喜美子、佐藤泰代 (事務局) 岡根教育長、笹生教育部長、渡邊公民館長、當眞生涯学習課長、伊藤生涯学習課長補佐、網代主査、杉本主事、伊藤社会教育指導員、森田社会教育指導員、池田社会教育指導員、飯島家庭教育指導員
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
8	傍聴人数	0 人(定員 人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話：80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和元年 7 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

第1回 富津市社会教育委員会議会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>それでは定刻になりましたので始めさせていただきます。 本日は何かとお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。進行を務めます生涯学習課長の當眞と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、3月31日の任期満了に伴い、今回新たに富津市社会教育委員になられました皆様に委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>お名前を読み上げますので、その場でご起立をお願いいたします。岡根教育長と笹生教育部長が皆様の前に回ってまいりますので、お1人ずつお受け取り願います。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>( 委嘱状を交付する。)</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>それでは、新しく委員となられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様の自己紹介をお願いしたいと思います。今回の資料のp.1をご覧くださいと思います。名簿順に鳩飼委員からお願いいたします。</p>
<p>各委員</p>	<p>自己紹介をする。</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、事務局職員の自己紹介を行います。教育長からお願いいたします。</p>
<p>各職員</p>	<p>自己紹介をする。</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>ここで、会議の公開につきまして説明させていただきます。本会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により</p>

<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>まして公開となります。</p> <p>このため、後ほど会議録署名人 2 名を決めていただきたいと思います。</p> <p>また、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>会議に先立ちまして、出欠席の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の出席委員は 11 名、欠席委員は 2 名でございます。従いまして、過半数の出席がございますので、社会教育委員会会議運営規則第 3 条第 5 項の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、ただ今から令和元年度第 1 回富津市社会教育委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、岡根教育長より挨拶を申し上げます</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>(教育長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>これより、議事に入りますが、委員長が選任されるまでの間、慣例によりまして教育長が仮議長の職を行います。</p> <p>岡根教育長は仮議長席に移動願います。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>それではこれより議事に入りますけれども、委員長が選任されるまでの間、慣例によりまして私の方が仮議長を務めさせていただきます。</p> <p>それでは議題 (1) 富津市社会教育委員会委員長の互選についてを議題といたします。</p> <p>富津市社会教育委員会会議運営規則第 2 条第 1 項の規定で、委員長は、委員の互選により定められております。</p> <p>選任の方法につきましては、慣例により委員の皆様からの推</p>

<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>薦の形で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ご異議もないようですので、委員からの推薦で行います。</p>
<p>推薦したい方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。</p>	
<p>宮内委員</p>	<p>前委員長でありました高橋委員を委員長に推薦したいと思います。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ありがとうございます。ただいま高橋委員を委員長にどの推薦がありましたが、他にご推薦される方はいらっしゃいますか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>他にご推薦がないようですので、ここでお諮りいたします。高橋委員を委員長に選任することよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ご異議もないようですので、委員長は、高橋栄二委員に決定いたしました。委員長が選任されましたので、これで仮議長の職を降ろさせていただきます。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>高橋委員はここへお掛けください。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>わかりました。</p>

<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>それでは私の任を解かせていただきます。ありがとうございます。どうぞ。</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>それでは、高橋委員長は、委員長席に移動していただきまして、就任のごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>委員長による就任あいさつ。</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>ありがとうございました。富津市社会教育委員会議運営規則第3条第4項によりまして「会議は、委員長が議長となる。」の規定により、ここからは高橋委員長に議長をお願いして会議を進めていただきますが、その前に先ほど申し上げました会議録署名人2名を決めていただきたいと思います。それでは、高橋委員長お願いいたします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>それでは議題(2)の所でございますが、会議録署名人の指名についてであります。慣例により私から指名させていただきます。よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>大変申し訳ございませんが、鳩飼委員と宮内委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようでございますので、会議録署名人は鳩飼直委員と宮内和男委員に決定いたします。</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>続きまして、議題(2)の、富津市社会教育委員 副委員長の互選についてを議題といたします。</p>
	<p>副委員長の選任については、委員からご意見がありますでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>「委員長からの指名」の声あり。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ただいま、委員長から指名とのご意見がありましたが、ほかにありますでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ほかに意見がないようですので、私の方から指名することによろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>それでは私から副委員長に杉田玲子委員を指名いたします。お諮りいたします。杉田委員を副委員長に選任することに、ご異議はございませんか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、副委員長には杉田委員と決定いたしました。</p>
	<p>杉田委員は副委員長席に移動し、就任のごあいさつをお願いします。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>副委員長による就任あいさつ。</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、次に議題(3)君津地方社会教育委員連絡協議会理事及び監事の選出についてを議題といたします。</p> <p>理事の人数等について事務局からお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>君津地方連絡協議会では、富津市から3名の理事を選出することとなっています。加えまして、今年度から2年間は監事1名を選出することとなっております。慣例によりまして委員長・副委員長が理事となりますので、そのほかに理事1名と監事1名を選出していただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>これまで理事は学識経験者の中から1名、石井委員が選出されてはいますが、今回はいかがいたしましょうか。</p>
<p>大野委員</p>	<p>「ひきつづき学識経験者の石井委員を推薦します。」の声あり。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>石井委員がひきつづきということによろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>よろしくお願いします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>石井喜美子委員を理事に推薦することにいたします。</p> <p>続きまして、監事でございますが他に誰かご推薦等ございますでしょうか。</p> <p>特に無いようでしたら、私の方から指名してよろしいでしょうか。</p>

各委員	よろしく申し上げます。
(議長) 高橋委員長	今回初めてのようですが、佐藤委員にお願いしたいと思いま す。
佐藤委員	はい、務めさせていただきます。
(議長) 高橋委員長	では、監事につきましては佐藤泰代委員にお願いしたいと思 います。 では、ご意義もないようですので、君津地方社会教育委員連 絡協議会の理事は委員長の私、高橋と杉田副委員長と石井委員 の3名、監事には佐藤委員を選出することを決定いたしました。
(議長) 高橋委員長	それでは、議題(4)代表委員の選出についてを議題といた します。 事務局から、説明をお願いします。
(事務局) 伊藤課長補佐	公民館運営審議会委員及び明るい選挙推進協議会委員につ いて説明する。
(議長) 高橋委員長	はい、わかりました。 ご質問等ございましたら、お願いします。
(議長) 高橋委員長	特に無いようですので、公民館運営審議会委員につきましては は今までどおり委員長の私といたしまして、それから明るい選 挙推進協議会委員につきましては今説明がありましたように 任期がもう1年あるため、森委員がやっていかれるというこ とでよろしく申し上げます。

<p>各委員</p>	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>では、議題（５）生涯学習・社会教育と社会教育委員についてに移ります。よろしく申し上げます。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>資料により説明する。 会議資料 p.3、富津市子どもの読書活動推進計画資料参照。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>事務局からの説明は終わりましたが、委員の皆様の見がありましたらご質問等いかがでしょうか。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>特に無いようですので、議題（６）富津市教育施策と社会教育事業についてにまいりたいと思います。 事務局の説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>資料により説明する。 会議資料 p.6～7 参照。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>事務局からの説明は終わりましたが、委員の皆様からご質問等ございますか。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>すみません、補足として資料 p.8～9 をご覧ください。 本年度から力を入れてまいりたいのが、教育長からもございましたように家庭教育及び家庭教育支援チームというメニューがございまして、そこで補助金を受けて指導員の先生方の支援員という形で配置することができました。 そして昨年から富津市版の子ども教室である放課後ルームを行い、昨年度は大貫小学校を対象として中央公民館で週一回金曜日に行っていたものを、本年度からは富津地区では木曜日</p>

<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>に富津小学校で、天羽地区では火曜日に環小で5月から行っております。</p> <p>おかげさまで昨年度は2～3人の登録だったものが今年は6～7人を越えており、環小に至っては22人の登録がございます。指導員2人では到底対応しきれないような事態が生じているので我々も手伝っております。</p> <p>このように学校の中に社会教育が入り、地元地域の皆さんのお力添えもいただきながら子ども達の支援、ひいては地域の活性化に繋がりたいと考えております。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ご質問がございますでしょうか</p>
<p>神子委員</p>	<p>ちょっと聞きたいんですけど、p.7の課題の3つ目ですけども加速する職員不足という記載があるんですが、これは教育委員会の行政職員のことを指すのでしょうか。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、それでは伊藤さん。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>そうですね、主観的には一番深く感じているのは年々仕事は増えていくのですが人数は逆に減る傾向にあって、どの課どの係も足りない傾向にございますが、それはそれで1人1人頑張っ て気持ちをしっかり持ちながら市民の力をお借しいただきたいということでこれからも進めてまいりたいと思います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>神子委員、よろしいですか。</p>
<p>神子委員</p>	<p>はい。</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>他にございますでしょうか。</p>
<p>石井委員</p>	<p>はい。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、石井委員。</p>
<p>石井委員</p>	<p>昨年度より放課後ルームということで大貫小でまず取り組まれたようですが、これに関して保護者への周知や利用してどんな反響の声があったのかを、もし良かったら教えていただければと思います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、じゃあ伊藤さん</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>昨年度は大貫小が対象で3名ないし5名だったんですけども、学校を通して全家庭に案内を配りましたが、大貫小は学童クラブをやってまして、そちらとかぶっている為に人数が少なく、一旦登録されたんですがそちらの学童クラブに入れる方を選ばれた保護者の方もおります。</p> <p>ただし、送迎される親御さんと指導員との何気ない会話が相談や受け答えになっていたり、首長部局の相談窓口に通一回家庭教育指導員を配置しているお話でありましたように役所に出向くのは敷居が高い等、こちらの方がかなり相談に対応できているということで、それもございまして家庭教育指導員を助ける支援員を増やすという方向付けを定まったということです。</p>

石井委員	ありがとうございます。
(議長) 高橋委員長	はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。
宮内委員	はい。
(議長) 高橋委員長	宮内委員。
宮内委員	今は中央公民館、富津小学校、環小学校がそれぞれ週一ということやってらっしゃるということですが、これは今のお話の中でどういう状況になるかということと親御さん方等のいろんな調査の中での意見等を踏まえた中で、週一を例えば週二にするといった計画はお考えにはなっているのですか。
(議長) 高橋委員長	はい、じゃあ伊藤さん
(事務局) 伊藤課長補佐	<p>実を申しますと放課後子ども教室というのは文科省でできれば全ての小学校区でやってほしい、この文科省の放課後子ども教室か厚生労働省の放課後児童クラブのどちらかをやってほしいという話だったのですが、今はその一体型をやってほしいという話になっており、「全ての小学校区を」という観点でまずは全ての学校に根付かせなければいけないという所を考えております。</p> <p>その内容につきましては、やればよいという考えではなく、せめて週2回ほどまず行うことと、それに携わる人の確保が一番大事なので、本当は地域の有志の方に交代でその役割を担っていただきたいと考えておりますが、そのきっかけとして指導</p>

<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>員・支援員がやっているという形です。 それがもちろん整ってくれば週2日ないしできれば毎日といった方向にはいきたいとは思っています。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。 それでは他にございますか。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>はい。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>今、市の大きな課題の中で学童保育があり、会が大きくなって中々営業ができないという学校もあるんですよ。そうすると昔で言う鍵っ子、家に鍵を持って帰ると誰もいないような子達をどうしたらいいのかというのが大きな課題の1つになっていまして、伊藤課長補佐の方から話があった家庭教育の支援が学校の中でフォローが少しでもできることや、できれば5時までと学校が開いている間だけでもちょっと見てくれるような形で子ども達がいられる場所が確保できればいいのかなと知恵を絞って取り組んでいく必要があるのが課題の1つかなと意識しています。</p>
<p>大野委員</p>	<p>失礼いたします。 今伺っていて、やはり支える人を早急に声かけを広めていって受け皿を広くしなければいけないと思います。例えば、市でまちの先生の登録とかされてますよね。そういう方達にも声を</p>

<p>大野委員</p>	<p>かけてみるとか、その中でまた調整して小学校もしくは中学校の子どもに教育的な指導ができるとか、そういうことをまた見つけることができると思いましたので、そういう方向でいかがでしょうか。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、伊藤さん。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>まさにその通りで、学童の方は日常生活を保育という形で関与する、生活の延長を保障するシステムなんですけど、放課後子ども教室はもともとは体験活動だったのです。体験が少ない事やひきこもりなどで友達とも遊んでいないといった状態がある中で、できれば体験活動をしたいといった方々が集まったり、それから週休二日制の中で土曜日の受け皿といった意味もありました。なのでまちの先生の活用というのも本当に意味があると思います。</p>
<p>森委員</p>	<p>すみません、今のお話を聞いていて私も薙刀の指導をしている立場から、薙刀も千葉県中の仲間がいるんですけど佐倉市で学童保育の授業が終わって学童に移動する時の受け渡しが難しいのだけれども、責任者がいれば薙刀の会で子どもを預かって教えるということを実際にやっている人達があります。</p> <p>それで私も少し公私混同的な雰囲気にもなるのですが薙刀をやる子が少ないのでどうしたら普及できるかなと考えた時に以前は飯野小学校の学童の方にも尋ねたことがあって、そういう学童で来てる子達を週1回でも薙刀をやる1時間2時間面倒見たりできないかという事の間いかけをしたことはあるんですけど、まだ学童の方がはっきししていなかったなのでそこは無理に依頼をしませんでしたけども、今のお話を聞いていると私のような立場の者がきちんとした手続きをした上で受け入れら</p>

<p>森委員</p>	<p>れるというかボランティアでいけるというか、そういう形ができればいいかなと、逆にやる側のためにもなると思いました。実際にやっているところもあるようです。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ありがとうございます。 他にご質問などはよろしいでしょうか</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>では、次に移りたいと思います。 議題（7）富津市の社会教育施設について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>資料により説明する。 富津市公共施設再配置推進計画資料参照。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>ここまでで何かご質問はございますでしょうか</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご質問がありますかということですが。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>私から質問してもいいでしょうか。 これは今年度、今年中にとおっしゃっていましたがもっと具体的にいうとどれぐらいの期間でやりたいですか。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>実際に具体的に検討する会議を2回ほど、夏頃に行いたいと思います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>夏ぐらいまでに2回ぐらいですか。</p>

<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>7月中に最初にいたしまして、8月あたりにもう1回検討いたしまして、この第2回会議というのが会議資料のp.5の第3条「委員長は、年2回定例の会議を招集するものとする。」と書いてあって、この会議自体も2回あって、今回が第1回で、年度末の2月あたりにもう1回あります。その2月あたりで決めたいと思うので、その前に、「必要に応じて臨時会議を招集できる」という事を使いまして、臨時会議で検討していきたいと思えます。</p> <p>もしも臨時会議という所でもかなり議論が活発になり、まとまらないようなことになればその途中に検討会なども行いたいと思えます。</p>
<p>(事務局) 笹生教育部長</p>	<p>まずは先ほど伊藤の方が申し上げたこれから決めていただくようとしている再建計画でございますが、富津市公共施設再配置推進計画のp.11の市民文化系施設という物がございまして、公民館・市民会館、こういった物は社会教育のあり方と合わせて検討するとありまして、委員会の中で検討して方針や大きな方向性を決めるというところでございます。</p> <p>第一にはまずこの案が認知をされ市民の意見を伺って案が取れる必要がある。それとも整合性を考えながら徐々にやっていかなければいけない。期限はなるべく1年以内でやりたいと思っているんですが、まず認知されないといけない。これに基づいて方針を決めていく所もありますから、全体的な流れを進めていく為にも、この場ではなるべく短いスパンで大きな方向性だけは決めていきたいというお願いをさせていただきます。</p>
<p>(議長) 高橋委員長  齋藤委員</p>	<p>ご理解いただけましたでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>どうぞ、斎藤さん。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>今、教育部長が言ったことがよくわかりました。</p> <p>ただ、伊藤さんの説明だけだと何だか押しつけるような感じに受け取ってしまったのですが、今の部長の説明で補足するとよくわかりますし、また時間が1年以内という長い期間があれば臨時会議を開いてもいいじゃないかという考え方を我々も今話を聞いて思うわけですね。</p> <p>できればそのように教育委員会の意向に、沿えるか沿えないかはわかりませんが、沿えるようにするには会議を重ねなければ沿えるようにならないんじゃないかと。もしそれが難しい問題であればやっぱり会議を開いていいんじゃないかと思えます。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>大野委員</p>	<p>次第（会議資料）の方の資料なんですけども、次第の p.10 から見ますと p.12 あたりに廃止という言葉が出てくるんですけども、今のお話を聞いているとまだまだそれは廃止というのは決定だけど、いつからという期間も、近々の例えば令和元年からすぐ廃止だよといった……廃止という言葉は利用する側にとってはとてもつらい事でありますので、私も耳にする所によりますと廃止というのが即今年からだとか来年からだとかいう具体的な噂といったものが出回っております。</p> <p>それで計画期間というのを見ると平成 37 年度までと出ていますが、それより以前に廃止ということはないわけですよ。</p>

<p>(事務局) 笹生教育部長</p>	<p>廃止を市が社会教育施設について総合管理計画の中で示してございますが、人口が減っていても持続可能な市民サービスを維持と言いながら、様々な市民サービスを提供しているという所では公共施設その物を抱えきれなくなっている所で合理的な方法によって一部は統合する、廃止しても必要性のあるものは他の機能を持った所で代用するといったものも含めて、ある施設はもしかしたら老朽化で再建築するのには費用と持続可能な視点で市民サービスの方もバランス良く維持する為といった理由がある場合は廃止という事もあるんですが、今の所決まっていますのは皆さんもご存じの通り一部の学校が来年4月に閉校になって、利活用か共同かはわかりませんがそういった所が平成37年の前には終わっているかもしれないということです。</p>
<p>大野委員</p>	<p>そうですか、ありがとうございます。</p> <p>私が具体的に申し上げますと老人施設ですね。例えば老人憩の家が廃止と出ているが、5月16日の木曜日に利用した間の中で老人の人達は「なくなるのはしょうがないよね、すぐなくなるという話、そんなにすぐなくなるわけではない」といった今年や来年といった具体的な事を言っていたのでそれはデマでしょうけど一応確認をさせていただきました。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>いいですか。</p> <p>私も今大野さんのおっしゃった廃止の問題も含めて、要するに文化系の施設、コミュニティーセンター等を見て、先ほどの福祉施設もそうなんですけど、地元という譲渡として進めていきますよと話が出てるんですよ。今それぞれ文化系の関係で色々コミュニティーセンターはそれぞれ結構利用されていると思うんですね。そういう意味からすると地元の物を譲渡して、後はもうそちらでお任せだからという事になるとまた問題</p>

<p>宮内委員</p>	<p>があるんじゃないかという気もするんですね。使用者との絡みという事も踏まえて、その点の所はどのようにお考えになっていますか。</p>
<p>(事務局) 笹生教育部長</p>	<p>今申し上げたように、決まっている物に関しても、その時には当然出向いてご説明とご協議などをして、全ての方にご納得いただけないと思いますが、きちんとした協議も別にやっていくなどしていきますので、推進計画資料 p.39 の廃止や解体することになっている施設も一定の協議が行われてものだと考えております。</p> <p>ただ、この社会教育施設に限っても広く全般的にもものが多くございますので、もう少し大きなスパンで行いたいと思います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>結構厳しい形になりますけども、まだ長い話になりますので。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>はい。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>こういう今日のような意見や交換会が説明会の中でされて、この素案についてどのように抱えていくのかと出ましたけども、そのように意見・意見交換を出していただいてまた素案をどう検討すべきかを今やろうとしています。</p> <p>p.39 を見ていただくと中央公民館は「市の方針を決定」を2年度になっており、それをこの社会教育委員の皆さんに全ての社会教育施設の中心拠点である3つの施設を今後どのように考</p>

<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>えていけばいいのかを意見交換をしてみただいて、我々にいただければなと思います。</p> <p>それで、大前提となるのがこれから人口が減っていくことです。富津市の中でどのくらいの施設を公共施設としてできるのかというのが大きな課題となっています。その中である程度、さっき大野委員からありましたように来年には廃止なんて話になってくると大変という話になるんですけど、この施設についてはこれを検討していきたいと思っているんですよということはどうでしょうか。今までと違うことをやるわけですから皆が絶対にいいわけではないと思います。でも、こういう時間の中で意見を交わしたい、それが説明会というものです。</p> <p>社会教育委員の皆さんには、その施設に対するご意見もいいんですけど、基本的にはどのようにして富津市民の方に提供していくのが1番いいのかという意見をいただければと思っています。そんな状況です。</p> <p>説明会も含めて様々な意見で素案そのものがどのように変更していくかなどを今の現状の中でどうなんでしょうかと一旦お話を持っていこうということをお願いします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>この素案についての説明会や意見交換が6月にあちこちで発表されてますよね。そこで出てこない、この素案がどうなるかがわからないのですよ。そこでまた色々と意見を言える機会があったらぜひ言って、説明会で「それは知らなかったよ」という風には絶対にならないようにしたいと思います。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>また、委員長、この会議について、先ほど言ったように臨時会について話があるようでしたらどうなりますか。</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>話がだんだん進んだら整理して、臨時会については事務局の方でお繋ぎください。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>すいません、お話を今伺っていてこれから地域でそういう会議が開かれるという事を前提として、地域の学校統廃合の会議に出させていただきます。そこで私も意見を言わせていただいたんですけども、やはり市の方が情報提供という所をもう少しクリアーといいますか、日本語って含みが広く大きい言葉がたくさんあってどのように受けとれられるかが不確定です。</p> <p>だから言葉だけで説明しようとするとう不安感が募るみたいな所もあるので、できる限り数字で、例えば教育長がおっしゃったようにこれから令和何年には富津市の人口はこうだ、その推移の元に建物はこのように造られるべきだと。</p> <p>やっぱり数字がとても説得力があると思うんです。そして、大勢の人が同じ場で何か協議をするには共通認識が得やすいと私は思うのでできる限り数字で考え、資料として全体構造を見ながら施設の事を協議していくのか、富津市全体の人口推移または出生率などそういった所を見ながら何を用意していくのか、やっぱりそういう視点が大事だと思いました。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
<p>(事務局) 笹生教育部長</p>	<p>おっしゃる通りでございます。</p> <p>公共施設の再建について、先ほどの総合管理計画などで公共施設について数字で説明を行います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>次回、臨時会議がある時は今、部長がおっしゃったような事を踏まえた数字等を含めて準備を頂きたいと思います。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>それに加えてですが、推進計画資料の p.55 からですが、今後の更新費用がまとめてあります。施設面積を 45%削減した場</p>

<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>合でも更新費用は 50 年間で 197.7 億円不足し、この 7 年間でもあと 15.7 億円が必要です。</p> <p>これも説明の続きになりますが、あくまでも私達は図書館や博物館のための空いた枠を作る（たとえば 3 校減ったから 1 校分は使えるというような）ことについて、本来はこのような施設が必要だと検討した上で市の状況を、社会教育施設に限ってですが、数字で示して進んでいくことに結びつけていこうと考えております。</p> <p>今日お配りした資料やHPに掲載された資料から、それらについてのご意見や再配置の計画につきましては、社会教育施設についてのご意見を6月中いっぱいメールでも何でも構わないのでご連絡いただいて、それを元に7月に検討するといったスケジュールでやっていきたいと思っています。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>いろいろとあると思いますが、他にご質問はあるでしょうか。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>はい。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>伊藤さんの発言（公共施設の再配置について、施設面積を○%削減するといった数値目標ありきの方向性）が気になったので。</p> <p>教育委員会で定めた小中学校再配置計画は、学校は基本的に子どもが減ってきているからこんな風にしましょうというよりも、今の子ども達の教育環境を小さな手段から進んで大きな</p>

(事務局)  
岡根教育長

手段にしましょうという考え方です。出生率も今年生まれた子が 200 人をきっています。そうすると普通の学校だって中学校一校で足りてしまう。それはやらない、やっぱり地区的にもそんなに集められるだけのことはしない事が今の再配置計画です。

たしかに施設の 50%が学校で、学校が少なくなれば他の多くの所が救われるかもしれませんが、全員をバスで 1つの学校に、例えば富津中に預かりましょうとなると納得のいかないという話になるでしょうし。

やっぱりある程度の所に学校は複数置きたいという事で通してますし、この計画にもありますように再配置計画にのっとってやりますと。その計画は少人数の複式学級の小学校を検討しましょうと、同じく中学校も検討しましょうよという考え方です。これは教育委員会としてもある程度考えていきたい。

もう一つはコミュニティーセンターなども考えると学校施設をどう活用するかというのも考えの 1つになります。校長先生もいらっしゃいますけど、やっぱり施設の一部を仕切って、そこはコミュニティーセンターと同じような市民の人達が使えるところにしますよなんて事を考えればあえてコミュニティーセンターを維持しなくても学校がある程度活用できる。

今、再配置で金谷や天神山や竹岡がなくなってしまう場合にその施設が後に使えるかどうかは別の話になりますけど、現存の学校を活用するのはよくあることで対案として出てくることは考えてます。再配置について、学校施設については今言ったような判断でやらせてもらいますので、施設を縮小するためにやろうという考え方ではありません。

(議長)  
高橋委員長

はい、ありがとうございます。

今、事務局からお話があったように、今後の会議の準備を進めていくようでございます。それで、伊藤さんからお話があっ

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>たように色々な意見は6月中に受けている。あんな考えがありますということを電話、メール、手紙、文章でもいいそうなので思う事があったらどうぞ伝えるようにしてください。それを事務局としてまとめていきたい。できれば簡潔な内容がいいと思います。まとめたらよろしくお願いします。</p> <p>他にご意見はございますでしょうか</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ないようですので、「その他」に入りたいと思います。</p> <p>それでは、4市と県の大会等について、事務局からお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 君津地方社会教育委員連絡協議会総会</li> <li>* 第54回君津地方社会教育推進大会</li> <li>* 第54回千葉県社会教育研究大会</li> <li>* 第50回関東甲信越静地区研究大会</li> </ul>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>第54回君津地方社会教育推進大会について、講演の内容がまだ決まっていないということでございます。皆さんからこんな内容がいいといったご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>資料としましては最後の p.23 に要項が載っております。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>会場も富津市になりますので、2年交代ですよ。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>木更津市や袖ヶ浦市などは各市で単独に推進大会などを行っているんですけども、本市におきましては生涯学習推進大会等は数年前から休止しておりますので、これが唯一の大会とな</p>

<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>っております。この機会に各所属団体の方などにお声掛けいただければありがたいです。</p>
	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p>
	<p>そうですね、この大会はこれしかないなのでその方達が集まって聞けるような元気な講演にしたいという気持ちが役員会にはありますね。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>特に意見もないようですので、本日の会議は終了いたします。</p>
<p>大野委員</p>	<p>すいません。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい。</p>
<p>大野委員</p>	<p>その他のその他で大変申し訳ないんですけども、事務局の説明について、次回からマイクを使用していただけると聞き取りやすくなると思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>(事務局) 伊藤課長補佐</p>	<p>大変申し訳ございません。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>はい、特に他になければこれで終わりにしたいと思います。</p>
	<p>皆様のご協力に感謝申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。</p>
<p>(事務局) 當眞課長</p>	<p>高橋委員長、ありがとうございました。</p>
	<p>以上をもちまして、令和元年度 第1回 富津市社会教育委員</p>

(事務局)	会議を閉会といたします。
當眞課長	ありがとうございました。
各委員	ありがとうございました。